

ラオス国
ビエンチャンバス公社運営能力改善
プロジェクト

バス事業の海外展開等に関する
意見交換会

2014年1月28日

片平エンジニアリング・インターナショナル

ビエンチャン市

人口 70万人

運行本数: 2013年11月現在

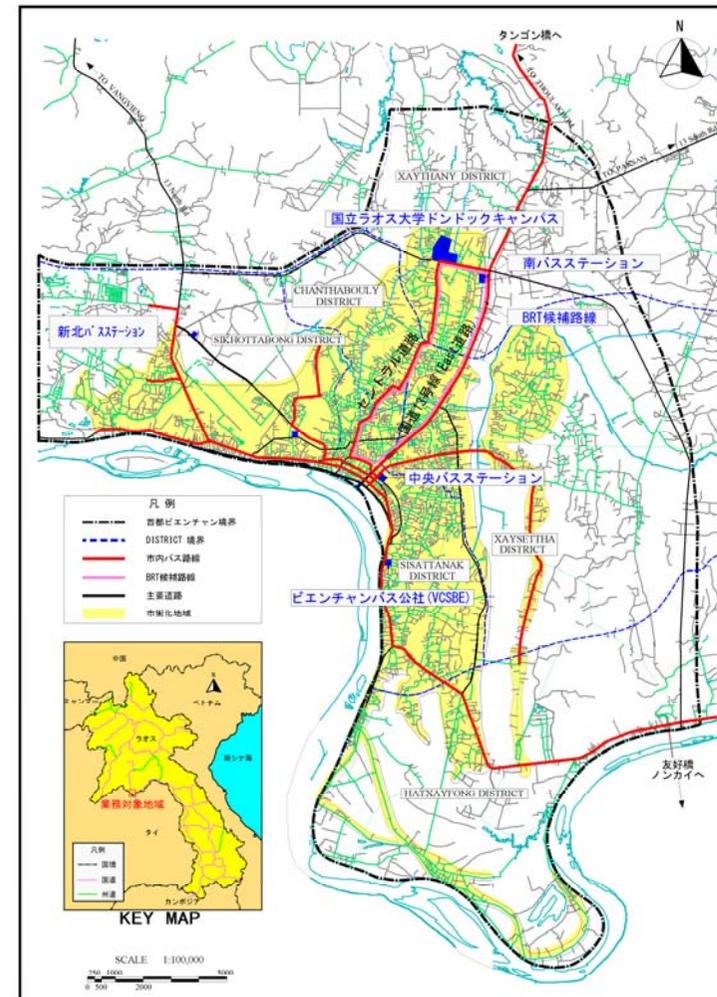
→達成値 251本/日

目標値 211本/日 (2015)

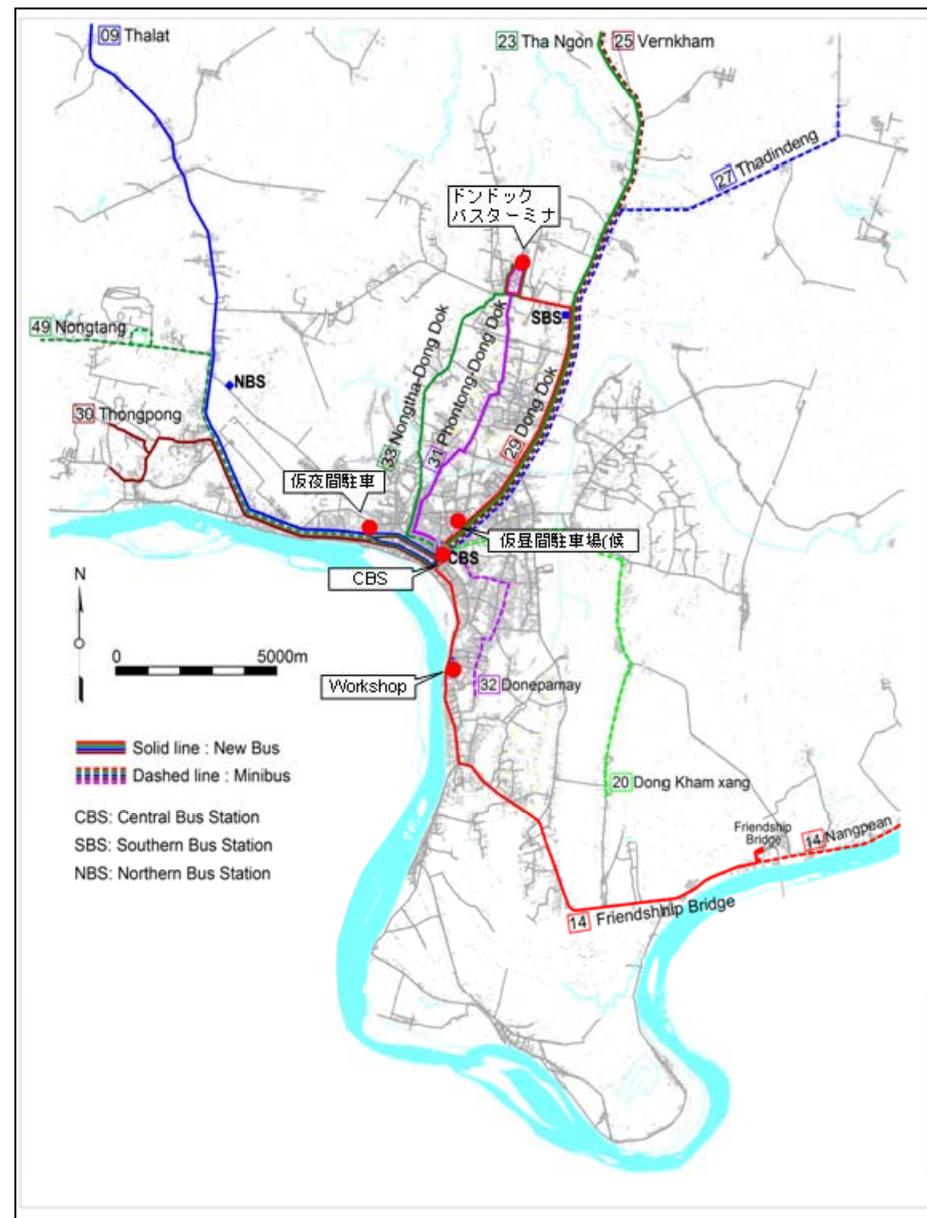
バス輸送力:

→達成値 37万人・キロ/日

目標値33.1万人・キロ/日
(2015)



1.2 路線運行図



BRT(バス専用レーン設置) 社会実験内容協議 2013年6月7日



BRT(バス専用レーン設置)社会実験 2013年6月17-21日



バス利用交通安全教室の開催 2013年10月26日



第3回日本研修 2013年8月18－30日



今年度の取り組み

- 日本バス事業者による現地セミナー
- BRT(バス優先レーン)の本格実験
- ICカード学生パスの導入
- 中期バス公社経営計画の作成
- 新中央バスステーション建設と仮バス停での運行

日本バス事業者による現地セミナー

目的：本邦バス事業者の経営・運行改善事例によるラオス公共バス事業の強化

日時：2014年3月13日～14日

➤ 座長：横浜国立大学中村教授

➤ 講師：イーグルバス・京成バス・両備バス

(1月23日現在)

➤ 参加者：バス公社・ビエンチャン市・公共事業運輸省・交通警察・民間バス会社・ラオス大学

BRT(バス優先レーン)の本格実験

目的: 第2年次BRT実験の拡大

目標日時: 2014年6月頃

- 候補路線: CBS~ラオス大学
- 方法: 朝ピーク時のバス優先レーンの設置
- 準備会議: 2013年JCC拡大会議で決定

議長: ビエンチャン市長

主要参加者:

MPWT副大臣・ラオス大学学長・ビエンチャン市建設層局長・交通警察・日本大使館・JICA他

ICカード学生パスの導入

目的: 全市内バス路線乗り放題学生パスの導入

日時: 2014年10月

- 期間: 入学時に支払い4年間利用
- 方法: ICカードによる学生パス
- 準備会議: JCC拡大会議で導入決定

(2013年12月23日)

議長: ビエンチャン市長

主要参加者: MPWT副大臣・ラオス大学学長・ビエンチャン市建設層局長・交通警察・日本大使館・JICA他

中期バス公社経営計画の作成

目的:バス公社の中期経営計画の策定

策定予定日時:2014年9月

➤期間:3カ年計画(2015~2018)

➤バス公社の経営目標の確定

➤売上計画

➤投資・資金計画

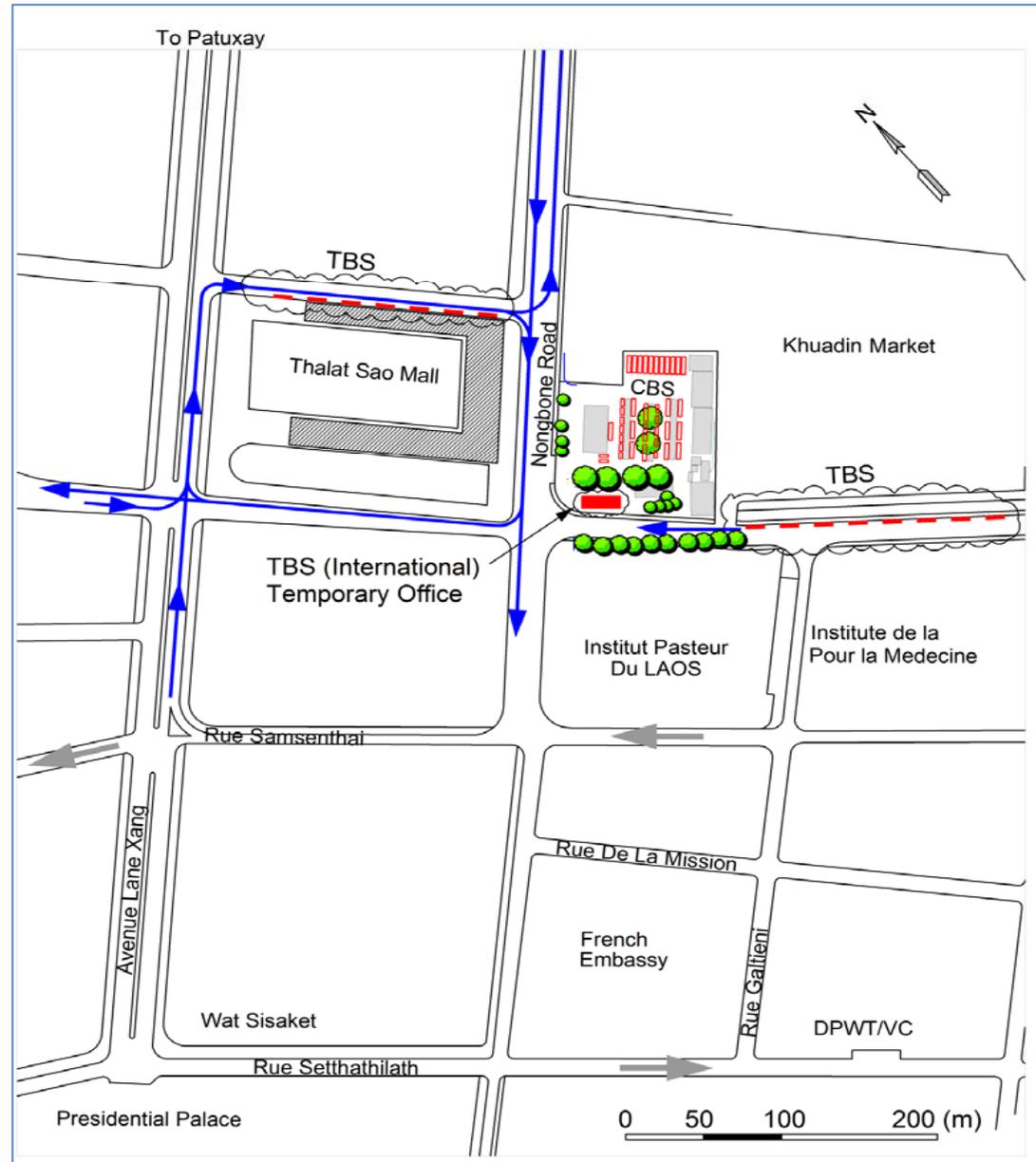
➤人材・労務計画

バス公社の経営を明確にし、参入を容易にする

新中央バスステーション建設と 仮バス停での運行

1. **背景** : 現CBS用地に新商業ビルが建設される
2. **目的** : 新CBS建設中も、安全で円滑なバス運行を行わなければならない
3. **課題**
 - 仮バス停により安全で円滑なバス運行
 - 周辺交通への安全配慮
 - 特に、バス利用者の安全で円滑な利用
 - 歩行の安全の確保
 - トクトク等パラトランジットの駐車場と運用整備
 - 新CBSの機能確保と詳細設計/施工監理

1.3 仮バス停 計画(案)



バス事業者参入の課題と解決

課題

1. 法律・規則の整備
2. 経営実態の明確化
3. 将来計画の明確化
4. キャッシュフローの安定化
5. 運行システムの効率化
6. 収入とコストの明確化

解決方法

1. MPWTによる陸上運輸法設定
2. 財務諸表の明確化
3. 中期計画の策定
4. 学生バス導入による資金フローの確立
5. IC機材による運行「見える化」
6. 乗客数とコストの把握

技プロを通じて、企業の経営基盤の強化策を造り上げ、本邦企業の資本参入や提携相手になれるようにする